

| NO. | 該当ページ・内容など | ご意見・ご質問 | 対応案 |
|-----|---------------------|--|--|
| 1 | 第1章第2節 総合計画策定の意義 | 新型コロナについての記載は削除されたが、さまざまな感染症はまだ流行しているので、感染症対策という文言を入れてはどうでしょうか。 | 対応 コロナに関わらず、感染症は流行しているため、文言を追加。 |
| 2 | 第2章第4節 産業等 | 基幹産業という表現は国や都道府県レベルで使用する場合が多く、地域において基幹産業という表現を使うことが適切なのか、また、稲美町にとって農業が基幹産業といえるのか。 | 現状のまま 審議会中の事務局説明のとおり。委員にも納得いただいたので現状のままとするが、基幹産業となった経緯について文言を一部変更する。 |
| 3 | 第2章第4節 産業等 | 農業振興地域が約3,000haとありますが、1,570haではないですか。「にじいろふぁ～みん」は現在、近畿最大級とは言えないのではないのでしょうか。 | 一部対応 具体的な広さを記載せず、%のみ記載。また、「にじいろふぁ～みん」については県下最大の販売面積であるため「近畿最大級」はそのままとする。 |
| 4 | 第2章第4節 産業等 | 工業について令和5年の製造品出荷額が県内22位となっており、商業では令和3年の年間販売額が県内8位となっています。県内8位は素晴らしい数字ですが、業務スーパーの神戸物産が稲美町に本社を置いていたことの影響が大きいかと思えます。神戸物産は加古川に本社を移しましたので、現在の年間販売額は県内8位にはならないのではないのでしょうか。 | 現状のまま 統計を基に県内順位を表記しているため、今回の見直しにおいてはこの順位で表記。現在の年間販売数は把握していないが、今後の動向は注視する。 |
| 5 | 第3章第1節 (2)子育て・教育 | 「主体的・対話的で深い学び」という表現がありますが、少し古いのではないかと思えます。また、「いなみっこ広場を開設するなど」とありますが、開設は少し前のことなので、「充実する」といった表現に変更してはどうでしょうか。 | 「主体的・対話的で深い学び」は残しつつ対応 「主体的・対話的で深い学び」は次期学習指導要領の基本的考え方(R7.9月)でも示されているので残した方がいいと考える。「いなみっこ広場」については、取組を充実するという表現に変更。 |
| 6 | 第3章第1節 (2)子育て・教育 | 子どもの多様化によって先生の負担が大きくなっている現状がある。子どもの多様性という文言を入れてはどうでしょうか。 | 対応 次のNO.7と合わせて、子どもの多様化による教育の課題について文言を追加。 |
| 7 | 第3章第1節 (2)子育て・教育 | 子どもが置かれている状況が多様化していることを追記することをご検討いただきたいと思います。 | 対応 NO.6参照。 |
| 8 | 第3章第1節 (2)子育て・教育 | LGBTの問題にも触れてほしい。 | 基本計画で対応 「共生社会」の実現に必要な啓発の一つであるため、基本計画で対応。 |

| NO. | 該当ページ・内容など | ご意見・ご質問 | 対応案 |
|-----|-------------------------------|--|--|
| 9 | 第 3 章 第 1 節 (3)福祉・医療・健康 | 「各ライフステージにおける保健サービスの一層の充実を図り、予防を重視した健康づくり」とありますが、何の予防のことでしょうか。介護予防のことであれば、はっきり前に介護と付けてはいかがでしょうか。 | 対応 介護だけの予防ではないので、「疾病予防や介護予防を重視した健康づくり」に変更。 |
| 10 | 第 3 章 第 1 節 (3)福祉・医療・健康 | 「がんや糖尿病などの生活習慣病及びその予備軍が増加傾向にある」と記載いただいておりますが、もっと住民に発信していただいて、特定健康診査の受診者が増えるとうよいと思います。 | 基本計画で対応 発信の強化は事業の一つなので、基本計画で対応。 |
| 11 | 第 3 章 第 1 節 (3)福祉・医療・健康 | ケアラーを支援する必要があることを明記するべきではないでしょうか。 | 対応 委員からは「現状の書きぶりでいい」との意見があったが、会長から「可能であれば記載した方がよい」との要望があったため、文言を追加。 |
| 12 | 第 3 章 第 1 節 (4)経済・産業・労働 | リモートワークについての言及があるが、現在リモートワークを推進する企業では減っていていると聞きます。コロナ禍で広く普及しましたが、減っていきつつあるのが現状であるなら、この文言は変更した方がいいのではないのでしょうか。 | リモートワークの言葉は残すが、変更 リモートワークの実施はコロナ禍時期からは減っているが、多様なライフスタイルに応じた働き方の実現には有効な手法のため、他の手法などもまじえて、多様なライフスタイルに対応するためのワーク・ライフ・バランスの実現を主旨とする文言に修正。 ※冒頭に「生産年齢人口の減少が予想され」とあるが、実際に減少しているため、表現を変更。 |
| 13 | 第 3 章 第 1 節 (4)経済・産業・労働 | AIを率先して導入しないとイケないのは行政なので、産業界だけでなく、役場がどうなっていくのかというのは町にとって大事なところ。インフレや金利が上がることについて、基本計画の前に書いておくことも必要ではないかと思ひます。 | 対応 ・行政のAI導入は、持続可能な行財政運営に関連するため(6)で記載。 ・インフレ、金利上昇、サプライチェーンの国内回帰については、世界情勢の影響への対応として(4)に追記。 |
| 14 | 第 3 章 第 1 節 (4)経済・産業・労働 | 農地の大区画化は町の事業とわかるのですが、その他のスマート農業、有機農業は個人プレーになるのではないかと感じています。いずれもかなり以前から言われていることですが、町全体の推進という意味では具体的なビジョンが見えていないのではないのでしょうか。 | 現行のまま 審議会中の事務局説明のとおり。町としてスマート農業、有機農業の推進の予定があるため、このまま残す。 |
| 15 | 第 3 章 第 1 節 (5)安全・安心なまちづくり | 防犯対策として見守りカメラや防犯灯の整備について追記されたことでわかりやすくなっていますので、災害発生時の取組についても、少し具体的に明記してもらえるとわかりやすいのではないかと思います。 | 基本計画で対応 具体的な取組は基本計画で記載すべきと考えるため、災害発生時の具体的な取組は記載しない。 ただし現状の文言では、「避難行動につながる取組の啓発」と、「啓発」だけになっているため、「避難行動につながる訓練の実施や啓発活動に取り組んでいく」に変更。 |